

第2章 施策評価

第1節 概要

1 内容

第1期基本計画では、第2期大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年度～令和6年度。以下「総合戦略」といいます。）を一体的に策定しており、まちづくりのテーマである「生涯おおたけ やっぱりおおたけ」を、総合戦略の基本理念とするとともに、総合戦略が掲げる「まち」「ひと」「しごと」の各基本目標を第1期基本計画の重点取組と位置付け、各基本目標の達成度を測るための指標を設定しています。

本章では、各基本目標の達成に向けて、第1期基本計画及び総合戦略の対象期間に取り組む施策の成果を測るための重要業績評価指標（KPI）の達成（進捗）状況と、各基本目標の総合評価を掲載し、施策評価とします。

2 総合戦略の体系

基本理念	基本目標		指標と目標値		施策	KPI	事業	指標
	生涯 おおたけ やっぱり おおたけ	1 まち	誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する	★社会増減を均衡させる【広島県人口動態調査】 △50人（令和2(2020)年公表分⇒±0人（令和6(2024)年公表分	まちの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇
まちの施策					〇〇	〇〇事業	〇〇	
まちの施策					〇〇	〇〇事業	〇〇	
まちの施策					〇〇	〇〇事業	〇〇	
2 ひと		結婚・出産・子育ての希望をかなえる	★就学前児童人口の減少を抑える【1月1日現在の住民基本台帳人口】 4年間における減少率 △13.8%(約△171人)【平成29(2017)年⇒令和3(2021)年】⇒△10.0%(約△107人)【令和3(2021)年⇒令和7(2025)年】	ひとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	
				ひとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	
				ひとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	
				ひとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	
3 しごと		地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する	★法人市民税納税義務者数を増やす 692件（令和元(2019)年）⇒710件（令和5(2023)年）	しごとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	
				しごとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	
				しごとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	
				しごとの施策	〇〇	〇〇事業	〇〇	

3 表の見方

①	【1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進】							
②	4年間で実現したい姿	「人づくり」や「つながりづくり」のための社会教育の推進によって、心豊かに楽しく自分らしく学べる環境が整い、「持続可能な地域づくり」が進んでいます。						
③	KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 図書館の図書を通じてさまざまな教養に触れ、心豊かに楽しく自分らしく学ぶ市民が増えることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
	市民1人あたりの図書館の貸出点数		4.3点	4.0点	4.5点			4.4点
④	【実施計画事業】						担当課	
	3	図書館運営事業	生涯学習課					

①第1期基本計画の施策の名称

第1期基本計画では、「1 教育・文化」「2 産業・雇用」「3 生活・環境」「4 安全・安心」「5 健康・福祉」「6 自治・行政運営」の6つの分野ごとに施策を定めています。

②4年間で実現したい姿

第1期基本計画では、計画期間（令和3年度～令和6年度）において施策に取り組んだ結果、実現したいまちの姿を、施策ごとに定めています。

③KPI（重要業績評価指標）

施策を評価するための成果指標です。「②4年間で実現したい姿」が実現した場合に得られる数値と位置付けています。令和元年度の数値を「現状値」とし、計画期間の最終年度である令和6年度に4年間の成果を測るため、令和5年度の目標値を定めています。そのため、期間中の各年度の実績値は参考値として扱います。（各年度の数値が把握できた時点で記載するため、年度が終了しても数値が不明のものもあります。）

本章では、第1期基本計画のKPIのうち、総合戦略の基本目標の達成に資するもののみを掲載しています。

なお、KPIによる施策評価は、外部委員で構成される総合戦略推進会議でも実施しています。

④実施計画事業

第1期基本計画の施策の具体的な取組である各種事業は、毎年度実施計画を策定して実施しています。ここでは総合戦略の基本目標の達成に資する事業を掲載しています。

なお、事業の取組状況と評価については、第3章に掲載しています。

第2節 重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本目標1【まち】

誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する



総合評価

・新型コロナウイルスの影響で、移動自粛などで市外への往来が減少する中、東洋経済新報社の「住みよさランキング」などの民間が公表する各種ランキングで本市が上位に位置付けられるなど、コンパクトな市域に暮らしに必要なものが比較的整っている本市の特性が注目されています。今後、晴海臨海公園に隣接する民間美術館の開館やJR大竹駅の改築完了・自由通路の開設に加え、小方小・中学校跡地の活用など、本市の住みよさと魅力をさらに高めていく取組が求められます。

・大竹駅の駅舎の橋上化及び東西自由通路の開設・駅前広場の整備は、スケジュールどおり進んでおり、駅周辺の回遊性の向上や新たな開発の促進が期待されます。また、小方小・中学校跡地の活用は、国道2号沿いの大規模な空き地という特性からさまざまな用途が期待されており、民間美術館、晴海臨海公園などとの結節や、JR新駅の構想も含めて、エリア全体の活性化と魅力の向上につながるような開発の可能性を検討していく必要があります。

・災害や犯罪などの少なさから、以前から「安全・安心なまち」であるとの評価が市民の間では定着しています。加えて、近年自然災害の頻発化・激甚化に加えて、新型コロナウイルスの感染拡大など、安全に対する市民の意識が高まっており、防災に関する教室や訓練の実施回数の充実や啓発の強化により、防災情報などをお知らせするメールシステムへの登録者数も増加しています。一方で、人口減少や高齢化、ライフスタイルの変化などにより地域コミュニティの衰退が問題となる中で、自主防災組織の加入率を上げることや、災害時に支援が必要な人へのフォロー体制の確立などが今後の課題です。

・新型コロナウイルスの感染拡大を機に、市民一人ひとりの健康への意識が高まる一方で、地域での健康づくりの活動の中止や制限、各種健診への参加控えなどの影響も生じています。また、あらゆる人が住み慣れた地域で生活するための地域福祉の推進は、高齢化などによる担い手不足を解消しつつ、地域と行政、関係機関の相互の協力や緊密な連携がより一層求められる状況にあります。支援が必要な人への支援体制を行政内部で構築していくことも今後の大きな課題です。

・まちづくりの最小単位としての地域を維持しつつ、住みよさと魅力を高めるためのインフラ整備などのハード面の充実を同時に進めながら、市民が笑顔で元気に暮らせて、誰もが「生涯おおたけ やっぱり大竹」と思えるような、魅力ある持続可能なまちづくりに取り組んでいく必要があります。

★基本目標の成果を測る指標★

指標と目標値	考え方
<p>社会増減を均衡させる 【広島県人口動態調査】</p> <p>△50人（令和2(2020)年公表分） ↓ ±0人（令和6(2024)年公表分）</p>	<p>基本目標を達成することで、本市にずっと住みたい方や、住んでみたいと思う方の増加が期待されます。</p> <p>大竹市人口ビジョンにおける「将来人口の見通し」以上の人口とするため、転入・転出による人口の社会増減を均衡させることをめざします。</p>

基本目標1【まち】 誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる魅力的な地域を実現する

4年間で実現したい姿	KPI（重要業績評価指標）	現状値(R1)	実績値(R3)	目標値(R5)
「人づくり」や「つながりづくり」のための社会教育の推進によって、心豊かに楽しく自分らしく学べる環境が整い、「持続可能な地域づくり」が進んでいます。	市民1人あたりの図書館の貸出点数	4.3点	4.5点	4.4点
スポーツへの関心が高まり、指導者やボランティアが増え、子どもや高齢者などが元気にスポーツを楽しんでいます。	スポーツ大会の参加者数	189,402人	71,843人	210,000人
	指導者(体育委員やボランティア)の数	128人	130人	170人
市の文化財や郷土の歴史を学ぶ機会が充実し、郷土の歴史、伝統文化の継承に関心を持つ人が増えています。	手すき和紙ボランティア参加者数	443人	346人	450人
大竹駅の整備や小方地区のまちづくり事業の進捗など、にぎわいや暮らしの拠点づくりが進み、「持続可能で魅力的なまちづくり」が進められています。	大竹駅の整備率(事業費ベース)	23.4%	44.4%	100%
	小方まちづくり事業の整備完了面積	0%	0%	10%
「住民自らが創り・守り・育てる」便利で持続可能な地域の公共交通が整備され、市民の移動を支えています。	「目的地までの移動がしやすいまちだ」と答えた人の割合	58.4%	46.2%	50%以上
住宅の耐震化や空き家の有効活用が進み、安全で良好な住環境が保たれています。	住宅耐震化率	83.1%	—	92%
	空き家バンク登録件数(累計)	0件	0件	2件
市民が安心して公園を利用できています。晴海臨海公園は多様な用途に活用できる魅力的なスポットになっています。	晴海臨海公園の利用者数	209,424人	99,720人	210,000人
適切な下水処理が行われ、衛生的な生活環境が維持できています。	汚水処理人口普及率	99.1%	99.2%	99%
安全で良質な水道水が安定して供給されています。	有収率(配水量に対する有収水量の割合)【上水】	79%	75%	87%
市民・事業者・関係団体・行政がそれぞれの責務に応じた役割を担い、協働することで、環境にやさしい快適なまちづくりが進められています。	環境全般に関する苦情件数	12件	13件	10件
	「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と答えた市民の割合	69.9%	63.7%	75%
植樹・育樹・緑化活動や森林の計画的な整備により、生物多様性や森林が持つ公益的機能が守られ、山地災害の未然防止が図られています。	森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積	196.67ha	199.58ha	221.67ha

4年間で実現したい姿	KPI（重要業績評価指標）	現状値(R1)	実績値(R3)	目標値(R5)
地域住民の高い防災意識により、自助・共助による地域防災力が向上し、いざという時に命を守る行動を取ることができています。	防災意識を持った世帯の割合	29.5%	53.5%	80%
急傾斜地の崩壊対策や河川や水路、海岸施設などの適切な管理により、市民生活の安全が守られています。	河川、水路の浚渫を行った箇所数(累計)	0か所	9か所	13か所
関係団体や地域との連携により、県内の市町と比較して交通事故や交通死亡事故が少なくなっています。	事故の発生率(高速道路を除く人口1,000人あたりの事故の発生件数)	1.9‰(ハ°-ミル)	1.1‰(ハ°-ミル)	1.5‰(ハ°-ミル)以下
市民・関係団体・行政の連携による地域安全活動や、防犯カメラ・防犯灯などの効果的な整備・運用により、犯罪が減少しています。	犯罪の発生率(人口1,000人あたりの犯罪の発生件数)	5.4‰(ハ°-ミル)	3.3‰(ハ°-ミル)	5.0‰(ハ°-ミル)以下
消防職員や消防団が安全・確実・迅速に消防活動を行える体制ができています。	消防力の整備指針に基づく主要車両の更新整備率(消防ポンプ自動車・救急自動車)	60%	80%	100%
	消防職員1人あたりの資格保有数	10個	10.3個	11個
	必要な研修を受講した消防団員の充足率(定数330人中)	27.8%	7.0%	33%
資質の高い救急救命士が救急車に常時配置され、市民の命を守るための体制ができています。	救急車への救急救命士の乗車率(第2救急まで)	98.3%	98.5%	100%
「地域包括ケア」の推進により、高齢者や要支援者などが住み慣れた地域でいきいきと活動し、つながりや生きがいを持ちながら自立した日常生活を送ることができています。	「通いの場」で活動している高齢者の数	292人	377人	470人
	「地域の役に立ちたい」と考えている人の割合(65歳以上)	33%	—	40%
介護保険サービスの整備が進み、負担と給付の均衡がとれた介護保険運営ができています。市内のどこに住んでいても介護保険サービスや生活支援が適切に受けられます。	介護給付費における計画値に対する実績	91.5%	96.5%	100%
障害のある人が住み慣れた地域で自立し、安心して暮らしています。	施設入所から地域生活へ移行した人数	0人	0人	3人
地域住民・事業者・ボランティア・行政の連携により、高齢者や社会的な支援が必要な人への見守りの輪が市全体に広がっています。住民同士で困りごとを解決できる顔の見える地域づくりが進んでいます。	「ボランティア活動に参加したいと思う」と答えた市民の割合	69.0%	63.8%	70%
	近所との関わりの程度	14.6%	13.1%	40%

4年間で実現したい姿	KPI（重要業績評価指標）	現状値(R1)	実績値(R3)	目標値(R5)
健(検)診を積極的に受け、日々の健康管理を行っている市民が増えており、健康寿命が向上しています。	「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」と答えた人の割合	73.5%	88.7%	75%
	がんによる死亡率	48.2%	54.0%	50%以下
休日・夜間を含む救急医療体制や、分娩可能な医療体制が確保されています。市民自らも日常生活での留意点や緊急時の対応を知り、適切な処置や受診行動ができています。	入院を必要としない二次・三次救急医療機関受診者(帰宅者)の割合	JA広島総合:18% 広島西医療:69.9%	※R4年度中に判明	減少させる
	JA広島総合病院の分娩制限の有無	制限なし	制限なし	制限なし
児童・生徒の発達段階に応じた食や食文化に関する指導により、郷土への愛着を深めながら、家庭での食育の実践が進んでいます。	家で家族の人と一緒に、または一人で料理を作ることができる児童生徒(小学5年生・中学2年生)の割合	—	76.2%	80%
食生活改善推進員などボランティアの活躍により、地域の中で食育が推進され、食生活を見直す人が増えています。	毎日朝食を食べる人の割合	76.8% (H29)	—	85%以上
	食生活改善を実践している人の割合	73.2% (H29)	—	80%以上
自治会やボランティア団体などによる市民公益活動やコミュニティ活動が、行政との協働により活発に行われ、住民主体の活気ある地域づくりが進んでいます。	「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と答えた人の割合	40.4%	52.4%	41%以上
大竹のまちに魅力を感じ、ふるさとへの愛着や誇りを持つ人が増えています。	大竹市に愛着や誇りを持つ人の割合	60.3%	76.5%	65.7%
市からのお知らせや市議会の活動の様子など、市に関する情報が積極的に発信・公開され、行政に対する市民の関心が高まっています。	市ホームページアクセス数	942,826	2,119,338	1,000,000

【1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進】

4年間で実現したい姿	「人づくり」や「つながりづくり」のための社会教育の推進によって、心豊かに楽しく自分らしく学べる環境が整い、「持続可能な地域づくり」が進んでいます。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 図書館の図書を通じてさまざまな教養に触れ、心豊かに楽しく自分らしく学ぶ市民が増えることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
市民1人あたりの図書館の貸出点数		4.3点	4.0点	4.5点			4.4点
【実施計画事業】						担当課	
3	図書館運営事業						生涯学習課

【1-4 豊かな心身を育むスポーツの推進】

4年間で実現したい姿	スポーツへの関心が高まり、指導者やボランティアが増え、子どもや高齢者などが元気にスポーツを楽しんでいます。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 誰もが参加しやすいスポーツ大会やイベント等を企画・実施することは、市民のスポーツへの関心及び参加を増やすとともに、健康で活力ある生活につながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
スポーツ大会の参加者数		189,402人	134,923人	71,843人			210,000人
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 指導者(体育委員やボランティア)の数が増えることは、市民のスポーツへの関心及び参加を増やすとともに、仲間づくりや生きがいづくりにもつながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
指導者(体育委員やボランティア)の数		128人	129人	130人			170人
【実施計画事業】						担当課	
1	スポーツ振興事業(スポーツの普及)						生涯学習課
2	スポーツ振興事業(推進体制の充実)						生涯学習課

【1-5 まちへの愛着と誇りを育む歴史・文化の保存・継承の推進】

4年間で実現したい姿	市の文化財や郷土の歴史を学ぶ機会が充実し、郷土の歴史、伝統文化の継承に関心を持つ人が増えています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 市の伝統工芸である「手すき和紙」の製造などに関わる人が増えることで、伝統文化の価値や魅力を高めながら次の世代に継承することが期待できます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
手すき和紙ボランティア参加者数		443人	318人	346人			450人
【実施計画事業】						担当課	
1	文化財保護事業						生涯学習課

【3-1 快適で魅力的な都市空間の創造】

4年間で実現したい姿	大竹駅の整備や小方地区のまちづくり事業の進捗など、にぎわいや暮らしの拠点づくりが進み、「持続可能で魅力的なまちづくり」が進められています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 計画期間内での整備完了を目指します。大竹駅の整備が進むと、交通結節機能が向上します。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹駅の整備率 (事業費ベース)		23.4%	33.3%	44.4%			100%
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 具体的な事業化に向けて取り組むことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
小方まちづくり事業の整備完了面積		0%	0%	0%			10%
【実施計画事業】						担当課	
1	大竹駅周辺整備事業					都市計画課	
2	小方地区のまちづくり事業					企画財政課、土木課、都市計画課	
3	都市計画の見直し(立地適正化計画策定事業)					都市計画課	

【3-3 生活を支える公共交通の充実】

4年間で実現したい姿	「住民自らが創り・守り・育てる」便利で持続可能な地域の公共交通が整備され、市民の移動を支えています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 半数以上を目指します。将来に向けて地域の移動を支え続ける意識を持つことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「目的地までの移動がしやすいまちだ」と答えた人の割合		58.4%	56.5%	46.2%			50%以上
【実施計画事業】						担当課	
1	地域公共交通整備事業					自治振興課	

【3-5 住みよさと安心を生む住宅政策】

4年間で実現したい姿	住宅の耐震化や空き家の有効活用が進み、安全で良好な住環境が保たれています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 市内の住宅の耐震化が進むことで、災害時の被害を抑制することができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
住宅耐震化率		83.1%	—	—			92.0%
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 空き家バンクへの登録数が増えることで、空き家の有効活用が期待できます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
空き家バンク登録件数 (累計)		0件	0件	0			2件
【実施計画事業】						担当課	
2	住宅改修等補助事業					都市計画課	
3	空家対策事業					都市計画課、企画財政課	

【3-6 楽しさと憩いを提供する公園・緑地の整備】

4年間で実現したい姿	市民が安心して公園を利用できています。晴海臨海公園は多様な用途に活用できる魅力的なスポットになっています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 晴海臨海公園は現在多くの利用者でにぎわっています。施設を適切に維持管理するとともに、利用者にとって魅力ある公園となる取組を行うことで、にぎわいを維持します。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
晴海臨海公園の利用者数		209,424人	168,892人	99,720人			210,000人
【実施計画事業】						担当課	
2	晴海臨海公園整備事業					都市計画課	

【3-7 暮らしを支える上下水道の整備】

4年間で実現したい姿	適切な下水処理が行われ、衛生的な生活環境が維持できています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 総人口に対する汚水処理施設の普及状況を指標としています。衛生的な生活環境を維持するためには、適切な汚水処理が行われることが必要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
汚水処理人口普及率		99.1%	99.2%	99.2%			99.3%
【実施計画事業】						担当課	
1	公共下水道事業					上下水道局	
4年間で実現したい姿	安全で良質な水道水が安定して供給されています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 安定した水道水を提供するためには、水源地からの配水が十分であることだけでなく、無収水量を減らし、各家庭などが使用する水量を確保することが必要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
有収率(配水量に対する有収水量の割合) 【上水】		78.6%	77.8%	75.2%			86.8%
【実施計画事業】						担当課	
3	上水道事業					上下水道局	

【3-8 環境にやさしい持続可能なまちづくり】

4年間で実現したい姿	市民・事業者・関係団体・行政がそれぞれの責務に応じた役割を担い、協働することで、環境にやさしい快適なまちづくりが進められています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 苦情件数を指標とすることで、環境の保全や改善の取組の進捗や、取組に対する市民の理解が進んでいることを測ることができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
環境全般に関する苦情件数		12件	24件	13件			10件
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 環境美化の取組によって、市民が「まちがきれい」で気持ちがいい」と実感できることが重要です。地域の環境を守ろうという意識醸成にもつながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「環境美化の取組が進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と答えた市民の割合		69.9%	67.0%	63.7%			75.0%
【実施計画事業】							担当課
2(1)	環境学習事業						環境整備課
2(2)	環境監視指導事業						環境整備課
3	環境衛生・美化推進事業(環境衛生推進事業)						環境整備課
4	環境衛生・美化推進事業(地域不法投棄対策事業)						環境整備課
4年間で実現したい姿	植樹・育樹・緑化活動や森林の計画的な整備により、生物多様性や森林が持つ公益的機能が守られ、山地災害の未然防止が図られています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 森林の公益的機能を回復させるためには、計画的な森林整備を進め、適切に管理することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
森林の間伐、枝打ち、皆伐等の施業面積		196.67ha	196.74ha	199.58ha			221.67ha
【実施計画事業】							担当課
5(1)	ひろしまの森づくり事業						産業振興課
5(2)	森林環境税関連森林整備事業						産業振興課
6	治山事業						産業振興課

【4-1 自然災害やさまざまな危機に強いまちづくり】

4年間で実現したい姿	地域住民の高い防災意識により、自助・共助による地域防災力が向上し、いざという時に命を守る行動を取ることができています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 避難のタイミングや避難所までの経路、持ち出し品の準備、緊急時の集合場所や連絡方法が認識されているなど、自らの命を守るという意識を持った世帯が増えることが、地域の防災力を高めます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
防災意識を持った世帯の割合		29.5%	27.5%	53.5%			80.0%
【実施計画事業】							担当課
1	自主防災組織育成指導事業(地域の防災力の強化)						危機管理課
2(1)	防災情報等啓発促進事業(防災意識向上の取組)						危機管理課
2(2)	防災体制整備事業(災害廃棄物の処理)						環境整備課
4年間で実現したい姿	急傾斜地の崩壊対策や河川や水路、海岸施設などの適切な管理により、市民生活の安全が守られています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 氾濫などのおそれのある箇所を計画的に進め、適切な管理を行うことで、災害時の危険性を抑えることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
河川、水路の浚渫を行った箇所数(累計)		0か所	3か所	9か所			13か所
【実施計画事業】							担当課
2(1)	砂防事業(急傾斜地崩壊対策事業)						土木課、監理課
2(2)	浸水対策事業						土木課、上下水道局
3	河川・水路改良保全事業						土木課
4	海岸保全事業						土木課

【4-2 事故や犯罪のない安全・安心な地域づくり】

4年間で実現したい姿	関係団体や地域との連携により、県内の市町と比較して交通事故や交通死亡事故が少なくなっています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 事故の発生率(基準値)は県下で中位ですが、上位の1.5%(パーミル)以下を目指します。安全・安心なまちを実感できていることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
事故の発生率(高速道路を除く人口1,000人あたりの事故の発生件数)		1.9‰	1.4‰	1.1‰			1.5‰以下
【実施計画事業】							担当課
1	交通安全対策事業						自治振興課
4年間で実現したい姿	市民・関係団体・行政の連携による地域安全活動や、防犯カメラ・防犯灯などの効果的な整備・運用により、犯罪が減少しています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 犯罪の発生率(基準値)は県平均(5.0%(パーミル))を超えるため5.0%以下を目指します。安全・安心なまちを実感できていることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
犯罪の発生率(人口1,000人あたりの犯罪の発生件数)		5.4‰	3.3‰	3.3‰			5.0‰以下
【実施計画事業】							担当課
2	防犯対策事業(青色回転灯パトロール、地域防犯力の強化)						自治振興課
3	道路施設管理事業(市営外灯維持管理事業)						土木課

【4-4 市民の命を守る消防体制の充実】

4年間で実現したい姿		消防職員や消防団が安全・確実・迅速に消防活動を行える体制ができています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 整備率100%を目指します。更新計画に基づき消防車両を維持することで、活動する職員の安全確保と機動性の向上が図られ、万全な消防活動体制の維持に繋がります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
消防力の整備指針に基づく主要車両の更新整備率(消防ポンプ自動車・救急自動車)		60%	80%	80%	/	/	100%
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 資格を持つ消防職員が増えることで消防力が向上し、地域の特性に応じた消防活動が強化されます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
消防職員1人あたりの資格保有数		10個	10.3個	10.3個	/	/	11個
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 消防団員のスキルの向上に取り組むことで、消防団員の条例上の定数を満たすだけでなく、資質を備えた団員が増えることが、消防体制の盤石化につながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
必要な研修を受講した消防団員の充足率(定数330人中)		27.8%	2.0%	7.0%	/	/	33.0%
【実施計画事業】						担当課	
2	消防力強化事業					消防課	
3	人材育成事業(研修計画)					消防課	
6(1)	消防団一般事務(消防団活動推進事業)					消防課	
6(2)	消防団一般事務(消防団人材育成事業)					消防課	
4年間で実現したい姿		資質の高い救急救命士が救急車に常時配置され、市民の命を守るための体制ができています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 乗車率100%を目指します。救急救命士が救急車に常時配置されることで、救命率が高まります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
救急車への救急救命士の乗車率(第2救急まで)		98.3%	99.1%	98.5%	/	/	100%
【実施計画事業】						担当課	
7	救急救命士養成事業(資質の向上)					消防課	
8	救急救命士養成事業(人材確保)					消防課	

【5-1 生きがいに満ちた高齢者の暮らしの支援】

4年間で実現したい姿	「地域包括ケア」の推進により、高齢者や要支援者などが住み慣れた地域でいきいきと活動し、つながりや生きがいを持ちながら自立した日常生活を送ることができています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 高齢者が地域活動や社会活動に取り組む場である「通いの場」で活動する高齢者が増えることで、介護予防の一つとなることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「通いの場」で活動している高齢者の数		292人	356人	377人			470人
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 「地域の役に立ちたい」と考える高齢者が増えることは、地域活動を活発化させるための基盤になります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「地域の役に立ちたい」と考えている人の割合(65歳以上)		32.6%	—	—			40.0%
【実施計画事業】							担当課
1	介護予防・日常生活支援総合事業(一般介護予防事業)						地域介護課
2(1)	老人クラブ連合会促進事業						地域介護課
2(2)	老人集会所補助事業						地域介護課
3	介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)						地域介護課
4	包括的支援事業(生活支援体制整備事業)						地域介護課
4年間で実現したい姿	介護保険サービスの整備が進み、負担と給付の均衡がとれた介護保険運営ができています。市内のどこに住んでいても介護保険サービスや生活支援が適切に受けられます。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 給付費の見込に基づき、3年ごとに保険料を設定しており、計画値と実績の差が小さいほど、負担と給付のバランスが取れていることになり、安定的・持続的な制度運営につながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
介護給付費における計画値に対する実績		91.5%	85.9%	96.5%			100%
【実施計画事業】							担当課
5	介護施設整備等補助事業						地域介護課

【5-3 障害のある人が自分らしく生きるための支援】

4年間で実現したい姿	障害のある人が住み慣れた地域で自立し、安心して暮らしています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 在宅支援のサービスなどの利用が進み、施設入所から地域での生活に移行する人が増えることで、誰もがお互いを大切にし、認め合い、生きがいを持って暮らせる共生社会の実現に近づいていると考えます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
施設入所から地域生活へ移行した人数		0人	0人	0人			3人
【実施計画事業】							担当課
1	障害者総合支援事業(障害者等自立支援給付事業)						福祉課
2(1)	重度心身障害者医療費助成事業						保健医療課
2(2)	精神障害者医療費助成事業						保健医療課

【5-4 見守り支え合う地域福祉の推進】

4年間で 実現したい姿	地域住民・事業者・ボランティア・行政の連携により、高齢者や社会的な支援が必要な人への見守りの輪が市全体に広がっています。住民同士で困りごとを解決できる顔の見える地域づくりが進んでいます。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 自主的な地域福祉活動への関心が高まり、必要な人材が増えることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「ボランティア活動に参加したいと思う」と答えた市民の割合		69%	38%	63.8%			70%
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 住民同士で困りごとを解決できる地域づくりのためには、普段から近所同士で付き合いがあることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
近所との関わりの程度		14.6%	51.0%	13.1%			40.0%
【実施計画事業】						担当課	
1(1)	地域福祉担い手育成事業					地域介護課	
1(2)	地域福祉団体育成事業					地域介護課	
1(3)	地域福祉活動推進事業					地域介護課	
2(1)	介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業)					地域介護課	
2(2)	地域見守り活動事業					地域介護課	

【5-5 元気・健康・安心をつくる保健・医療体制の充実】

4年間で実現したい姿		健(検)診を積極的に受け、日々の健康管理を行っている市民が増えており、健康寿命が向上しています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 自分の健康への意識が高い市民が増えることで、健康寿命の延伸が期待できます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」と答えた人の割合		73.5%	70.0%	88.7%			75.0%	
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 増加傾向にあるがんによる死亡者数を抑えるために、がん検診の受診率の向上に取り組むことで、早期発見及び治療を促すことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
がんによる死亡率		48.2%	57.8%	54.0%			50%以下	
【実施計画事業】					担当課			
1	健康づくり推進事業(健康増進事業、歯科保健事業、がん検診及び健康診査等事業、人間ドック及び脳ドック事業、糖尿病対策推進事業)						保健医療課	
4年間で実現したい姿		休日・夜間を含む救急医療体制や、分娩可能な医療体制が確保されています。市民自らも日常生活での留意点や緊急時の対応を知り、適切な処置や受診行動ができています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 軽症者の二次・三次救急医療機関での受診が減少することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
入院を必要としない二次・三次救急医療機関受診者(帰宅者)の割合		JA広島総合:18% 広島西:69.9%	JA広島総合:17% 広島西:61.1%	※R4年度中に判明			減少させる	
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 広島西二次保健医療圏内で、分娩が可能である医療機関が確保されることで、安心して子どもを産み育てる環境がつけられます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)	
JA広島総合病院の分娩制限の有無		制限なし	制限なし	制限なし			制限なし	
【実施計画事業】					担当課			
2	医療体制整備事業(休日診療所運営事業、救急医療施設運営補助事業、医療体制支援事業、へき地医療対策事業)						保健医療課	
3	医療体制整備事業(産科医療施設人材確保支援事業)						保健医療課	

【5-6 正しい食生活と食文化を学ぶ食育の推進】

4年間で実現したい姿		児童・生徒の発達段階に応じた食や食文化に関する指導により、郷土への愛着を深めながら、家庭での食育の実践が進んでいます。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 食に関する正しい知識理解を深め、日常の食事と関連づけて、家庭で実践できることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
家で家族の人と一緒に、または一人で料理を作ることができる児童生徒(小学5年生・中学2年生)の割合		—	—	76.2%			80%
【実施計画事業】						担当課	
1	学校における食育の推進(教育活動における食育の実践、家庭・地域と連携した食育推進事業)						総務学事課
2	学校における食育の推進(学校給食における地場産物等活用事業)						総務学事課
4年間で実現したい姿		食生活改善推進員などボランティアの活躍により、地域の中で食育が推進され、食生活を見直す人が増えています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 食育という言葉の認知や関心だけでなく、自らの食生活を改善している人が増えていることが大切です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
毎日朝食を食べる人の割合		76.8% (H29)	—	—			85%以上
KPI (重要業績評価指標)		現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
食生活改善を実践している人の割合	73.2% (H29)	—	—			80%以上	
【実施計画事業】						担当課	
3	食育推進事業						保健医療課

【6-1 市民と行政の協働による地域づくり】

4年間で実現したい姿	自治会やボランティア団体などによる市民公益活動やコミュニティ活動が、行政との協働により活発に行われ、住民主体の活気ある地域づくりが進んでいます。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 過去3年間(平成29~令和元年度)の平均以上を目指します。地域のまちづくりへの参加意識を持つことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」と答えた人の割合		40.4%	29.7%	52.4%			41%以上
【実施計画事業】						担当課	
1	協働のまちづくり推進事業						自治振興課
2	地域活動促進事業(自治会活動支援事業、コミュニティづくり推進事業)						自治振興課
4年間で実現したい姿	大竹のまちに魅力を感じ、ふるさとへの愛着や誇りを持つ人が増えています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 大竹市に愛着や誇りを持つ人が増えることが、定住人口や関係人口の増加につながります。また、地域を大切にすることが、まちづくりの原動力にもなりません。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹市に愛着や誇りを持つ人の割合		60.3%	57.7%	76.5%			65.7%
【実施計画事業】						担当課	
2	まちづくり基本構想等普及事業						企画財政課

【6-4 時代に対応した情報政策とまちの魅力発信】

4年間で実現したい姿	市からのお知らせや市議会の活動の様子など、市に関する情報が積極的に発信・公開され、行政に対する市民の関心が高まっています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 さまざまな情報発信媒体を活用し、市ホームページに積極的にアクセスしてもらえるようにすることで、市政への関心を持ってもらうことが重要です。アクセス数は、分野ごとに解析します。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
市ホームページアクセス数		942,826	1,312,542	2,119,338			1,000,000
【実施計画事業】						担当課	
2	広報事業						企画財政課

基本目標2【ひと】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる



総合評価

・全国的な少子化に、新型コロナウイルス感染拡大がさらなる拍車をかける中で、本市においても出生数が減少傾向にあります。妊娠から出産、就学前、就学後と子どもの成長段階に応じた支援を行い、本市で生子、育てたいと思えるような施策を展開していくことが求められています。

・行事などの中止や規模縮小により、人と人が直接触れ合い交流する機会が減少し、令和3年度は学校、幼稚園や保育園、地域など様々な場所でその影響が見られました。そうした中でも、感染対策を入念に行い、オンラインツールなども活用して事業の継続に努めました。

・小・中学校では、全ての児童・生徒、教職員にタブレットを配付し、ICTを活用した学習環境の整備に取り組みました。教職員の活用スキルの習熟度にばらつきがあるなどの課題はありますが、ICT支援員の配置やマニュアル整備などにより、ICTを学習環境の充実・向上により一層つなげていくことが求められます。

・地域と学校の協働・連携による子ども向けの各種講座や教室が大変盛況であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らすなど工夫しながら事業を継続しました。ボランティアなどの人材不足が大きな課題となっており、コミュニティ・スクール制度の導入などを機に、学校・保護者・地域がより一層連携しながら充実した学習機会を提供していくことが求められます。

・母子保健・子育て支援分野では、新型コロナウイルス感染拡大により各種健康診査の受診率が低下し、各種子育て支援サービスの利用が減少するなどの影響が生じています。一方で、子育て世代包括支援センター（おおたけ版ネウボラ）の開始により、関係部署・関係機関などが連携して切れ目のない子育て支援を行う体制が構築されつつあり、令和4年度からは市役所敷地内に認定こども園と子育て支援センターを併設した「にじいるこども園」が開設し、子育て支援のワンストップ拠点としての役割が期待されます。児童虐待の増加など、ハイリスク家庭への専門的な支援が求められていますが、人材不足などで専門職員の配置が難しく、組織としての体制づくりが課題です。

・今後は、国の子ども家庭庁の創設などの動きも踏まえ、教育・子育て・母子保健などの各分野のより緊密な連携を行っていく必要があります。

★基本目標の成果を測る指標★

指標と目標値	考え方
就学前児童人口の減少を抑える 【1月1日現在の住民基本台帳人口】 4年間における減少率 △13.8%（約△171人） （平成29(2017)年⇒令和3(2021)年） ↓ △10.0%（約△107人） （令和3(2021)年⇒令和7(2025)年）	基本目標を達成することで、本市で子どもを生子、育てるための環境が充実すると、0歳から5歳までの人口（就学前児童人口）の減少の緩和が期待されます。 平成29（2017）年から令和3（2021）年までの4年間における減少率を基準値とし、減少率を緩和させることをめざします。

基本目標2【ひと】	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
-----------	-------------------

4年間で実現したい姿	KPI（重要業績評価指標）	現状値(R1)	実績値(R3)	目標値(R5)
小学校に入学した子どもが安心感を持って新しい学校生活に移行し、主体的に自己を発揮して成長しています。	小学1・2年生の不登校児童数	0人	1人	0人
児童・生徒が主体的に学習に取り組む環境が整い、社会で生き抜く力やコミュニケーション能力を身につけるための学校教育活動が行われています。	小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合	91%	92%	95%
居住地や経済的な事情に左右されることなく、児童・生徒・学生が就学・進学することができています。	中学校卒業生の進学率	100%	100%	100%
小学校に入学した子どもが安心感を持って新しい学校生活に移行し、主体的に自己を発揮して成長しています。	ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業への参加が地域や社会で活躍するきっかけとなったと答えた人の割合	—	28%	80%
「人づくり」や「つながりづくり」のための社会教育の推進によって、心豊かに楽しく自分らしく学べる環境が整い、「持続可能な地域づくり」が進んでいます。	文化祭・公民館等まっりの参加者数(発表者・来場者)	8,401人	813人 ※公民館まっりは中止	13,300人
妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談・支援体制が整い、安心して子どもを産み育てることができる家庭が増えています。	「安心して子どもを産み育てられる」と感じる人の割合	—	62.9%	60%
	産後1か月でEPDSが9点以上の褥婦の割合 ※EPDS…産後うつ病質問票 ※褥婦(じょくふ)…おおむね産後6～8週間の期間にある女性。	6.7%	6.1%	減少させる
	保育所等の待機児童数	0人	0人	0人
	保育所等への入所未決定児童数(特定の保育所や認定こども園を希望している児童)	5人	7人	0人
虐待児童や保護が必要な児童・家庭への迅速で適切な対応が行われています。	要保護児童対策地域協議会登録児童の終結率	54.8%	67.1%	60%
ひとり親家庭などが相談できる体制や経済的支援などが充実し、ひとり親が安定した生活を送りながら安心して子育てができる環境が整っています。	自立した母子・父子世帯の割合(児童扶養手当の給付を要しなくなった人の割合)	8.2%	11.3%	10%

【1-1 子どもの学びと成長を支える教育の充実】

4年間で実現したい姿	小学校に入学した子どもが安心感を持って新しい学校生活に移行し、主体的に自己を発揮して成長しています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 幼稚園・保育所・認定こども園などと小学校が連携することで、「小1プロブレム」を防ぎ、学校に行くことが楽しくなるようにすることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
小学1・2年生の不登校児童数		0人	0人	1人			0人
【実施計画事業】							担当課
1	幼保小連携事業						総務学事課、福祉課
4年間で実現したい姿	児童・生徒が主体的に学習に取り組む環境が整い、社会で生き抜く力やコミュニケーション能力を身につけるための学校教育活動が行われています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 学校生活を通して成長した子どもの姿を見て、保護者が学校の教育活動に満足することが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合		91%	94%	92%			95%
【実施計画事業】							担当課
2	教育推進事業(ICT活用事業・指導体制の充実・小中学校の連携)						総務学事課
3	教育推進事業(学校情報の公開)						総務学事課
4	教育振興事業(英語力向上事業)						総務学事課
4年間で実現したい姿	居住地や経済的な事情に左右されることなく、児童・生徒・学生が就学・進学することができています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 義務教育を終えた中学校卒業生が、進学したいにもかかわらず、居住地や経済的な事情のため、進学以外の選択をすることを防ぎます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
中学校卒業生の進学率		100%	100%	100%			100%
【実施計画事業】							担当課
6	遠距離通学支援事業(阿多田地区高校生等就学支援事業)						総務学事課
7	奨学金貸付事業						総務学事課
4年間で実現したい姿	地域と学校の協働により、子どもたちの成長を支える体制ができています。児童が安全に放課後や長期休暇を過ごせる場所や学習できる機会が充実しています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 各事業の参加者や放課後児童クラブの利用者が、サービスに満足していることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「放課後子ども教室、らんらんカレッジ事業、放課後児童クラブ事業に「とても満足している」または「満足している」と答えた児童・保護者の割合		—	80%	79%			85%
【実施計画事業】							担当課
8	学校連携・子どもの居場所づくり事業(地域と学校の連携協力)						生涯学習課
9	学校連携・子どもの居場所づくり事業(放課後子ども教室・らんらんカレッジ事業)						生涯学習課
10	学校連携・子どもの居場所づくり事業(放課後児童クラブの運営)						生涯学習課

【1-2 未来を担う青少年の健全な育成】

4年間で実現したい姿	家庭・学校・地域が連携し、青少年を健全に育成する環境が整い、社会を生きる力や未来を担う創造性、チャレンジ精神、リーダーシップ、コミュニケーション能力などを身につけた人材が育っています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 各事業に参加することが、将来、地域や社会で活躍するきっかけとなることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
ジュニアリーダー育成事業、中学生交歓交流事業への参加が地域や社会で活躍するきっかけとなったと答えた人の割合		—	—	28%			80%
【実施計画事業】						担当課	
1	青少年育成事業(人材育成)						生涯学習課
2	青少年育成事業(推進体制の充実)						生涯学習課

【1-3 生きがいと創造性を育む生涯学習・社会教育の推進】

4年間で実現したい姿	「人づくり」や「つながりづくり」のための社会教育の推進によって、心豊かに楽しく自分らしく学べる環境が整い、「持続可能な地域づくり」が進んでいます。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 文化祭や公民館等まつり、生涯学習講座などへの参加を通じて、文化・芸術などに親しんだり、さまざまな体験や学びを得ることで、心の豊かさや地域づくりの大切さを養うことができます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
文化祭・公民館等まつりの参加者数(発表者・来場者)		8,401人	13,637人	813人 ※公民館まつりは中止			13,300人
【実施計画事業】						担当課	
1	生涯学習推進事業(生涯学習グループ支援、文化祭)						生涯学習課
2	生涯学習推進事業(社会教育事業)						生涯学習課

【5-2 子どもと子育てを支える体制の充実】

4年間で実現したい姿	妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談・支援体制が整い、安心して子どもを産み育てることができる家庭が増えています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 子育てへの支援体制が充実し、子育てを行う者が実際に「安心して生み育てられる」と感じられることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
「安心して子どもを生み育てられる」と感じる人の割合		—	—	62.9%			60%
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 「健やか親子21(第2次)」(厚生労働省・健やか親子21推進協議会)では、産後1か月でEPDSが9点以上の褥婦の割合を減少させることを目標に掲げています。妊娠期～出産の時期において、母子双方に深刻な影響を与える産後うつ病の発症を予防することが、子育て期の安定につながります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
産後1か月でEPDSが9点以上の褥婦の割合 【EPDS】 産後うつ病質問票。 【褥婦(じょくふ)】 おおむね産後6～8週間の期間にある女性。		6.7%	3.6%	6.1%			減少させる
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 子どもと保護者のニーズに沿った保育の受け皿の確保と保育サービスの充実を行うことで、仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てできる環境をつくることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
保育所等の待機児童数		0人	0人	0人			0人
KPI (重要業績評価指標)		現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
保育所等への入所未決定児童数(特定の保育所や認定こども園を希望している児童)	5人	3人	7人			0人	
【実施計画事業】							担当課
1(1)	こども医療費助成事業						保健医療課
1(2)	母子保健事業(母子保健指導事業、妊産婦歯科健康診査事業、妊婦乳幼児健康診査事業、妊産婦健康診査等支援事業、不妊治療助成事業)						保健医療課
2	母子保健指導事業(子育て世代包括支援センター事業)						保健医療課
3	利用者支援事業						福祉課
4	子ども・子育て支援事業計画の推進(私立保育所等委託事業、公立保育所管理運営事業、病児保育運営委託事業、子育て援助活動支援事業)						福祉課
5	地域子育て支援拠点事業						福祉課

4年間で実現したい姿		虐待児童や保護が必要な児童・家庭への迅速で適切な対応が行われています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 児童虐待の問題に対し、発生予防、早期発見、早期対応の取組みや保護が必要な児童・家庭を関係機関や地域住民と連携し支援することできるサービス・制度が確立され、機能していることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
要保護児童対策地域協議会登録児童の終結率		54.8%	72.7%	67.1%			60.0%
【実施計画事業】					担当課		
6	子ども・子育て支援事業計画の推進(子育て短期支援事業・養育支援訪問事業)						福祉課
4年間で実現したい姿		ひとり親家庭などが相談できる体制や経済的支援などが充実し、ひとり親が安定した生活を送りながら安心して子育てができる環境が整っています。					
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 子どもの健やかな成長を支えるため、ひとり親家庭の自立に向けた取組を進めることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
自立した母子・父子世帯の割合(児童扶養手当の給付を要しなくなった人の割合)		8.2%	9.5%	11.3%			10.0%
【実施計画事業】					担当課		
7	母子・父子福祉事業(児童扶養手当支給事業、母子・父子自立支援事業)						福祉課

基本目標3【しごと】

地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する



総合評価

・新型コロナウイルスの感染拡大が本市の産業界にもたらす影響が懸念されましたが、本市に工場を構える企業の多くは堅調な経営を維持し、法人市民税や固定資産税などの市税収入への影響は見られませんでした。

・一方で、商業分野は、飲食店への営業時短要請などによる経営の悪化が懸念されたことから、大竹商工会議所などと連携しながら、クーポン発行事業などの商業者支援や、中小企業支援を重点的に行いました。令和4年度以降も新型コロナウイルスがもたらす影響は予測が難しく、物価高騰なども経営圧迫の要因となっており、廃業者の増加なども懸念されることから、商工会議所や金融機関、その他関係機関と連携した支援を継続・強化していくことが求められます。

・農林水産業では、本市のブランド魚である「あたたハマチtoレモン」が赤潮の影響で生産量を大きく減らしましたが、商品としての知名度は向上しつつあります。ただし生産業者が限定されており、生産量が拡大できない状況にあることから、生産量の増加と流通の拡大を図り、魚価の向上につなげていくことが、今後の大きな課題です。

・観光分野は、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限などで観光客数が大きく減少しましたが、令和4年度は市外からの往来も戻りつつあります。大型遊具やデイキャンプ場を備え、家族連れに人気の晴海臨海公園に加え、新たに開館予定の民間美術館は、本市の魅力を高める観光スポットとして期待されます。こうした動きを本市の知名度・イメージの向上に生かし、地元への消費拡大などにつなげていくことが重要です。

・用途が決まっていない小方小・中学校跡地の活用なども含めて、個々の事業を有機的に結び付けながら、地域経済の活性化や新たな雇用の創出につながるような取組の強化が求められます。

★基本目標の成果を測る指標★

指標と目標値	考え方
<p>法人市民税納税義務者数を増やす</p> <p>692件（令和元(2019)年）</p> <p>↓</p> <p>710件（令和5(2023)年）</p>	<p>基本目標を達成することで、本市での起業者の増加や廃業者の減少、収益の増加などにより、法人市民税を納付する事業者が増えることが期待されます。</p> <p>法人市民税納税義務者数を新型コロナウイルスの影響以前までの水準以上にすることをめざします。</p>

基本目標3【しごと】

地域経済を活性化し、安心して働ける魅力的な雇用の場を創出する

4年間で実現したい姿	KPI（重要業績評価指標）	現状値(R1)	実績値(R3)	目標値(R5)
水産基盤の整備やハマチのブランド化の成功による販路拡大、水産関連イベントの来場者数の増加などにより、水産物の漁獲量や収入が増加し、水産業に活気が生まれています。	海面漁業漁獲量	3,647t (平成29年度)	2,857t (令和元年度)	3,652t
	あたたハマチtoレモンの価格	900円/kg	1,100円/kg	1,200円/kg
地域住民と関係団体、市が連携し、農業の担い手育成や農地・農業環境の整備保全、特産品の開発などが進み、農村部に活気が生まれています。	新規就農者数(累計)	0人	0人	1人
市の主要産業である素材型産業を担う大手企業が堅調な経営によってまちの発展を支えています。中小企業は経営が安定し、新たに起業・創業する人が増えています。商店などは新たな社会環境に適応した経営を行っています。	市内事業所数の減少率	△3.2%	—	△3%以内
魅力あるスポットや商品が市内外に周知され、観光客や市内消費が増加し、産業の振興と地域の活性化につながっています。	市内観光客数(1月～12月)	470,318人	280,529人	520,000人
働きやすい環境づくりに取り組む企業が増え、一人ひとりのライフスタイルなどに合った働き方ができる市民が増えています。企業も従業員が確保でき、経営が安定しています。	新規求人数に対する新規求職者数の年間割合	1.48	1.23	1倍以上 2倍
港湾施設・漁港施設の利便性が保たれ、効率的で安全な施設利用が可能になっています。	大竹港で取り扱う貨物の量	145万t	140万t (速報値)	160万t

【2-1 自然の恵みを生かした農林水産業の振興】

4年間で実現したい姿	水産基盤の整備やハマチのブランド化の成功による販路拡大、水産関連イベントの来場者数の増加などにより、水産物の漁獲量や収入が増加し、水産業に活気が生まれています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 市場の需要に合わせた供給を確立させるためには、漁獲量を増加させることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
海面漁業漁獲量		3,647t (平成29年度)	3,445t (平成30年度)	2,857t (令和元年度)	/	/	3,652t
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 あたたハマチtoレモンの販路を拡大させ、漁業者の経営安定と収入増につなげるためには、魚価を向上させることが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
あたたハマチtoレモンの価格		900円/kg	1,000円/kg	1,100円/kg	/	/	1,200円/kg
【実施計画事業】						担当課	
1・2 水産業振興事業						産業振興課	
4年間で実現したい姿	地域住民と関係団体、市が連携し、農業の担い手育成や農地・農業環境の整備保全、特産品の開発などが進み、農村部に活気が生まれています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 農業を振興していくには、新規就農者が増えることで、農業の担い手が確保され、農地の保全が進むことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
新規就農者数(累計)		0人	0人	0人	/	/	1人
【実施計画事業】						担当課	
3(1) 鳥獣被害防止対策支援事業						産業振興課	
3(2) ひろしま給食地産地消促進事業						産業振興課	
4 農業次世代人材育成投資事業						産業振興課	
5 農業振興対策事業(農産物などのブランド化・商品開発支援)						産業振興課	

【2-2 地域経済の元気と成長を支える商工業の振興】

4年間で実現したい姿	市の主要産業である素材型産業を担う大手企業が堅調な経営によってまちの発展を支えています。中小企業は経営が安定し、新たに起業・創業する人が増えています。商店などは新たな社会環境に適応した経営を行っています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 大手企業や中小企業、商店などへの支援を行うことで、人口が減少する中でも、市内の事業数が大幅に減少しないことが重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
市内事業所数の減少率		△3.2%	—	—	/	/	△3%以内
【実施計画事業】						担当課	
1 商工振興事業						産業振興課	
2 工業用水道設備維持管理事業						上下水道局	
3 中小企業経営安定支援事業						産業振興課	
4 商店街等振興奨励事業						産業振興課	

【2-3 にぎわいと交流を生む観光の振興】

4年間で実現したい姿	魅力あるスポットや商品が市内外に周知され、観光客や市内消費が増加し、産業の振興と地域の活性化につながっています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 観光産業の振興のためには、観光客数の増加が重要です。市に訪れる方が増えることで、市の魅力を市外の方に周知し、市に関心を持ってもらえます。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
市内観光客数 (1月～12月)		470,318人	378,791人	280,529人			520,000人
【実施計画事業】						担当課	
1(1) 観光宣伝等事業							産業振興課
1(2) 広報事業							企画財政課

【2-4 暮らしの基盤となる雇用促進と労働者・消費者支援】

4年間で実現したい姿	働きやすい環境づくりに取り組む企業が増え、一人ひとりのライフスタイルなどに合った働き方ができる市民が増えています。企業も従業員が確保でき、経営が安定しています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 働き方改革によって経営の効率化が図られることで、求人と求職のバランスが取れ、雇用増につながる事が重要です。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
新規求人数に対する新規求職者数の年間割合		1.48	1.12	1.23			1倍以上 2倍
【実施計画事業】						担当課	
1 勤労者生活等支援事業							産業振興課

【3-4 まちの産業と物流を支える港湾・漁港の整備】

4年間で実現したい姿	港湾施設・漁港施設の利便性が保たれ、効率的で安全な施設利用が可能になっています。						
KPI (重要業績評価指標)	【KPIの考え方】 大竹港の整備によって利便性が高まり、取扱貨物量が増加すると、市内産業の活性化に繋がります。	現状値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	目標値 (R5)
大竹港で取り扱う貨物の量		145万t	123万t	140万t (速報値)			160万t
【実施計画事業】						担当課	
1 港湾施設管理事業							土木課
2 漁港施設維持管理事業							土木課

第3節 大竹市総合戦略推進会議の主な意見

総合戦略の施策評価に当たっては、「産業界」「官公庁」「大学」「金融機関」「労働団体」「言論界」「士業（弁護士や司法書士など）」の各委員で構成される「大竹市総合戦略推進会議」（以下「推進会議」といいます。）で意見を聴取しました。

令和4年度に行われた推進会議で各委員から寄せられた意見を紹介します。

意見の内容
○人も物流も、どのようにサイクルさせるかが重要で課題と感じる。世の中にたくさんの情報が溢れている中で、欲しい情報が得られるような周知が必要である。
○市外の人到大竹に来てもらうための情報発信にもう少し力を入れてほしい。また「大好き大竹応援大使」がどのような活動をしているのかなど、市民に知ってもらうことが必要と思う。
○国道2号沿いの大規模な空き地（旧小方小・中学校跡地）の活用の希望として、中学生や高校生が思い切り走り回ったり、集まって何かできたりするような施設やサービスなどがあれば、子どもの思い出づくりの場や機会の創出につながるのではないかと。
○各事業で「人材不足」が課題になっているが、ボランティアに対して報酬を出すなどの取り組みが検討できないか。また、休みながら働くワーケーションのような滞在型での人材確保も検討してはどうか。DXの活用もポイントになってくると思う。
○「教育推進事業」のICTの活用について「学習者用端末の活用によって児童生徒の主体的な学びにつながったと感じる教員の割合」が60%で、関連するKPI「小・中学校の教育活動に満足している保護者の割合」が92%となっており、教職員と保護者の間で差がある。学校側がICTの現状をどのように評価するかによって、保護者が求めるICT活用につながるような情報収集が可能になるのではないかと。
○子どもたちが東京など市外に出ていく流れはなかなか止められないが、新型コロナウイルスの影響で事業が中止になり、大竹での思い出を共有できない状況が続くと、地元に戻ってこようという思いも薄れていく。地域の祭りなど、皆が思い出を共有する場や機会が増えるような環境づくりをしてほしい。
○「おおたけ版ネウボラ」について、その存在をあまり感じたことがなく、本当に支援が必要な人がつながらない可能性はないか。にじいろこども園が市役所敷地内に開設されたことで、一貫した支援ができるというアピールはされているが、この施設以外の保育園や幼稚園に通っている子どもたちにも同様のサービスや、きちんと目が行き届いているのか不安を感じる。
○ある研究によると、医療や福祉や教育など生活に必要な情報にアクセスするには「個人的なネットワークがあること」が重要で、「病気になるにくい」「子育てがしやすい」との結果が出ている。地域活動への参加者やボランティア数、地域との付き合いの度合いなどが、事業指標として目標値に達していないことに着目し、力を入れて取り組んでほしい。
○大竹の伝統である手すき和紙は、高齢化や担い手の確保などが課題であるが、「歴史や伝統文化に触れる機会を充実させる」だけでなく、例えば「青少年育成事業」のジュニアリーダー育成事業の中で「手すき和紙という伝統文化を産業化するためにはどうしたらいいのか」をテーマに考えてもらい、農業振興対策事業などと結びつけて地元産品のブランド化につなげるなど、親和性のある事業同士が横断的に連携する取り組みができないか。広島市では、原爆ドームなどに飾られていた折り鶴に使われた紙の再利用として、すき直した紙を市役所の職員の名刺に使用するなどの取り組みが行われている。